

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	職員を育てる取り組みにおいて統括法人の講習会、(遠隔地はインターネットによる場合もあり)自己啓発レポート提出等があるが現場、実践的に対応できていないところがある。	職員においては資格は取得しているが経験がなく又は少なく今後は現場の経験を積み介護の各分野において各職員がスキルアップして対応できることを目指す。	講習マニュアルを踏まえ日々、介護の3本柱である入浴、食事、排泄を始め、レク、行事開催入居者へのトラブル等に積極的に取り組む。	6ヶ月
2	47	服薬支援において一部の職員が管理、采配しており全職員がそれに基づいて配薬している状態。各職員の薬への薬効、副作用への認識、関心がもう一歩希薄	入居者の薬剤の認識、理解把握を全職員に特に新入職者を始め高める。	各職員がいつでも対応できるよう実際に薬剤が届いたら日付管理、残日数管理を始め薬剤への認識を高め、万が一への誤薬への悪い経験にも対応できるように、強いては又薬剤師との対応も可能にしたい。	6ヶ月
3	3	オープン間もないと言いうい訳もあるが町内への行事的参加は若干参加すれどもまだ少なく感じている。	現在の段階よりも将来的に漸次交流を深めていく。	推進会議を始め自治会報、他の情報源を見出しより、積極的に参加、貢献していきたい。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。